



平成29年2月
第33号

伊佐市 議会だより



目次

- 議長・副議長あいさつ 2
- 各議員の紹介 3
- 一部事務組合・各委員会委員紹介 4
- 補正予算 6
- 委員会報告 8
- 総括質疑・議決結果・意見書 10
- 一般質問 13
- 閉会中の議会活動・行政視察 19
- 編集後記 いさの夜空 20

議員18人の紹介

信 頼



議長 左近充 諭

さこんじゅう さとし (66歳)

議席番号： 18
党 派：無所属
期 別： 3

昨年11月の改選により、新人4人、元議員1人を含む18人で、伊佐市議会は新しいスタートを致しました。平成20年の合併時には3万2千人以上だった人口も、ここ8年で年間約500人ずつ4千人減少し、現在では2万8千人を割り込んでいます。人口が減ると国からの交付税が減らされます。少子高齢化の中、人口減対策として、伊佐市はまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、出生率の向上や子育て支援・医療・福祉の充実、地域を支える産業の活性化や雇用促進など、行政と一緒に頑張って解決しなければならぬ課題がたくさんあります。

また、議会改革（議員定数問題）等も協議しながら、開かれた議会として住民説明会や、各種団体組織等との意見交換をし、市民の皆さまの声や意見を大事にすることは勿論、信頼される議会・皆様の身近な議会として、議会の機能を最大限発揮し、議員一丸となって伊佐市の活性化、住民福祉の向上に努めてまいりる所存ですので、皆様の一層のご指導・ご協力をお願い申し上げます、皆さまのご多幸・ご健勝を祈念申し上げます。

夢と希望



副議長 沖田 義一

おきた よしかず (69歳)

議席番号： 13
党 派：無所属
期 別： 3

合併してから、9年目となり昨年11月に市長・市議会議員選挙が行われました。その結果、新人4人、元職1人、現職13人の議会となりました。30歳代の議員も2人となり、若い世代の意見も十分に反映できるフレッシュな議会となりました。また、18歳で選挙権が付与されるようになりました。ぜひ権利を行使し、政治に参加して若者の主張を、思いを政治に反映してほしいものです。

日本は、先進国では初めてとなる本格的な人口減少、少子高齢化社会に入っております。伊佐市も1月の人口は2万7078人でありましたが、2060年には、1万2440人に推移すると予想されています。子育て支援や高齢者対策などの医療、福祉の充実、伊佐の基幹産業である農業、産業の活性化、若者の雇用促進など課題は多くあります。行政と一緒に頑張って前向きに夢と希望を持って伊佐市の発展と市民の皆さまの身近な議会として議会の機能が最大限発揮できるよう尽くしてまいりる所存でございますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

伊佐市議会第3期議員の任期 平成28年11月30日～平成32年11月29日

第3期

市議会



谷山 大介

たにやま だいすけ (33歳)

議席番号： 1
党 派：無所属
期 別： 1



武本 進一

たけもと しんいち (46歳)

議席番号： 2
党 派：公明党
期 別： 1



岩元 努

いわもと つとむ (49歳)

議席番号： 3
党 派：無所属
期 別： 1



井上 文雄

いのうえ ふみお (73歳)

議席番号： 4
党 派：自由民主党
期 別： 1



森山 良和

もりやま よしかず (32歳)

議席番号： 5
党 派：無所属
期 別： 2



今村 謙作

いまむら けんさく (55歳)

議席番号： 6
党 派：無所属
期 別： 2



山下 和義

やました かずよし (66歳)

議席番号： 7
党 派：無所属
期 別： 2



森田 幸一

もりた こういち (68歳)

議席番号： 8
党 派：無所属
期 別： 2



緒方 重則

おがた しげのり (60歳)

議席番号： 9
党 派：無所属
期 別： 3



久保 教仁

くぼ のりひと (66歳)

議席番号： 10
党 派：無所属
期 別： 3



前田 和文

まえだ かずふみ (68歳)

議席番号： 11
党 派：無所属
期 別： 3



畑中 香子

はたなか きょうこ (44歳)

議席番号： 12
党 派：日本共産党
期 別： 3



鶴田 公紀

つるだ きみのり (75歳)

議席番号： 14
党 派：無所属
期 別： 3



柿木原 栄一

かきのきはら えいち (67歳)

議席番号： 15
党 派：無所属
期 別： 3



福本 千枝子

ふくもと ちえこ (68歳)

議席番号： 16
党 派：無所属
期 別： 3



植松 尚志郎

うえまつ しょうしろう (78歳)

議席番号： 17
党 派：無所属
期 別： 2

各委員会委員 紹介

総務産業委員会



■ 所 管 ■

総務課、企画政策課、財政課、地域総務課、税務課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農政課、林務課、伊佐PR課、建設課、農業委員会、水道課の所管に属する事項、他の委員会に属さない事項

(後列左から) 前田和文・山下和義・森田幸一・武本進一・井上文雄
(前列左から) 久保教仁・◎今村謙作・○鶴田公紀・左近充論
(◎は委員長 ○は副委員長)

文教厚生委員会



■ 所 管 ■

■所管■

教育委員会、市民課、環境政策課、福祉課、こども課、健康長寿課の所管に属する事項

(後列左から) 沖田義一・柿木原榮一・岩元 努・谷山大介・緒方重則
(前列左から) 福本千枝子・○畑中香子・◎森山良和・植松尚志郎
(◎は委員長 ○は副委員長)

議会運営委員会



◎山下和義 ○福本千枝子 柿木原榮一 畑中香子



森山良和 今村謙作 前田和文 久保教仁

(◎は委員長 ○は副委員長)

議会運営委員会とは、定例会・臨時会において会期の調整や日程、質問者の順序の調整など、議会運営を円滑にすることを目的として、議会運営の全般について協議、意見調整を図るために設けられる常設の委員会です。

監査委員 森田幸一

一部事務組合議会議員

一部事務組合は、地方公共団体の一つで、市町村がその団体の一部及び他の団体と同じ事務の一部を共同して処理するために設置されたもので、それぞれの一部事務組合には議会が設置されています。市議会では、その組合議会に議員を派遣しています。

大口地方卸売市場管理組合

武本 進一
井上 文雄
久保 教仁
鶴田 公紀
左近充 諭



伊佐湧水消防組合

山下 和義
森田 幸一
前田 和文
今村 謙作
左近充 諭

伊佐北始良火葬場管理組合

谷山 大介
岩元 努
沖田 義一
福本 千枝子
左近充 諭



伊佐北始良環境管理組合

畑中 香子
森山 良和
緒方 重則
柿木原 榮一
左近充 諭

始良・伊佐地区介護保険組合

左近充 諭



議会選出各種委員会委員

都市計画審議会

今村 謙作
森山 良和
鶴田 公紀
畑中 香子
井上 文雄
沖田 義一



菱刈公衆浴場運営委員会

今村 謙作
植松 尚志郎



宮人一般廃棄物最終処分場 公害対策専門委員会

森山 良和
畑中 香子
福本 千枝子
沖田 義一
左近充 諭



民生委員推薦会

柿木原 榮一
植松 尚志郎



補正予算 増額(総額185億4千万円)

※主な補正内容・概算額で表示

財政基盤の強化

地方債の繰り上げ償還

2,400万円

ランチルーム・体育館分の地方債を繰上償還する。(財源：減債基金)

減債基金(積立)

1億5,000万円

市債の償還及び市債の適正な管理に必要な財源を確保する。

社会支援

臨時福祉給付金(経済対策分)

1億3,840万円

給付見込み 対象者：8,700人 給付額：一人当たり15,000円

生活保護費扶助事業

4,300万円

被保護者の高齢化に伴う入院件数・日数の増加等により、医療扶助費を増額する。

重身(※)医療助成事業

450万円

申請件数が増えたため、重身医療費を増額する。

※重度心身障害者



第4回定例会 一般会計 5億3千万円

<補正の要点>

小学校小規模改修事業

・羽月小学校外壁改修等 4,000万円

臨時福祉給付金

・H31.9月までの2年半分を一括して支給 1億3,840万円

減債基金積立

・市債の償還及び適正な管理に必要な財源を確保 1億5,000万円

農業振興

環境保全型農業直接支払交付金事業

450万円

平成28年度新規取組者の増加に伴い増額する。総額2,228万円

(国1/2 県・市1/4)

実績：カバークロップ 19,905 a 有機農業 5,841 a 堆肥の施用 8,577 a

経営体育成交付金事業（議案第121号）

990万円

国の2次補正追加に伴い増額する。総額1,885万円（国10/10）

対象団体：エコファーム永池

教育環境整備

4,100万円

小学校外壁改修工事（羽月小）※繰越明許費補正（追加）

当初で国の事業割当を得られずできなかった外壁工事が、追加補正により事業割当を得たため外壁工事に係る経費を計上する。

羽月北小学校関連

ランチルーム・教職員住宅の解体費用、閉校式典に伴う事務費

各委員会報告

総務産業委員会

建設課

がけ地近接等危険住宅移転事業費
4422万3千円

Q なぜ減額補正か。

A 社会資本整備総合交付金は原則的には2分の1の補助金と定めはあるが、国の予算の範囲内において配分するとなっている。当初は2分の1で予算計上していたが、平成28年6月に申請した段階では25%程度の内示がなく、その後の補正も増える動きも見えなかったため、内示のあ

農政課

環境保全型農業直接支払交付金
446万円

Q 補正の理由は。

A 国が50%、県と市が残りの25%ずつ支払うことになっている。県と同額の金額を市の負担とするものである。

た額に補助金を減額し、地方債を増額するものである。

主な質疑と内容

畜産業費

1600万4千円

Q 増額の内容は。

A 対象の農家は、キンコファームと他1件の2件である。内容については、キンコファームが雑用水の施設整備、他は畜舎の建設分である。

伊佐PR課

木造住宅整備促進事業費
300万円

Q 増額の理由は。

A 申請件数が多くなり、平成28年12月20日現在、91件の申請件数で、そのうち新築が14件、増改築が77件である。ま

た、基金の残高は170万円である。

税務課

賦課徴収費の使用料及び賃借料
5万円

Q 補正の内容は。

A 軽自動車税については、平成28年度から軽課と重課と課税方法が変わってきている。

13年を経過した軽自動車は重課と高い税率になるが、その情報を軽自動車協会から、検査情報ということでいただいている。当初5千台の異動台数を見込んでいたが、実際9千台くらいの異動台数になる見込みである。4千台の増を見込み、5万円計上した、これは、軽自動車の購入とか、名義変更や、住所変更等の書類上の異動である。

議案97号 伊佐市報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

Q 改正の内容は。

A 農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業利用最適化交付金が新設された。

農地の集積及び遊休農地の解消等の成果と活動実績に応じて報酬を支給する制度が導入されるため、条例の整備をする。また、活動実績に応じて交付されるということで、現在、基本額2万円の実績報酬がある。その2万円の3割を活動に、7割を成果に対し配分する。これは、農業委員15人、農地利用最適化推進委員20人、合計35人に対してである。





▲ 羽月小学校 校舎

文教厚生委員会

教育委員会 総務課

工事請負費

3366万円

Q 羽月小学校の外壁改修工事は具体的にどのあたりをされるのか。

A 校舎一棟分全体。足場を組んで大掛かりな工事になるので、夏休み期間中、音のする部分だけを早目に済ませる。

社会教育課

積立金

464万6千円

Q 具体的内容は。

A 海音寺基金をいただいたときに、国債を1億円分購入した。今回、専門家の意見をいただき、マインズ金利の今が一番売却するのに適しているのではないかとの判断で売却し、売却益を再度定期に積んだ。

環境政策課

雑入

2847万3千円

Q 休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助金（過年度

分）の布計鉱山公害防止工事業は、どのようなことをされたのか。

A 27年度については作業道路の支障木の伐採、作業路の舗装工事。また、どのような工事をしたら一番安定するかということとで、施工試験調査の業務委託等である。

こども課

ペアレント・トレーニング

Q 具体的内容は。

A 市内の小中学校、保育所の職員を対象に、子どもの悩みや行動に対して、相談を受けたときに対応するため、鹿児島大学教育学部の教授を招いて、対応策についてインストラクターの養成をしている。

福祉課

扶助費

446万円増

Q 重度心身障害者医療助成費が増えた理由は。

A 基本的には、受給者数は大きく変わっていない。しかし、申請の件数が増えている。それに伴い、給付する医療費も増えている。

介護保険基金

繰入金24万5千円増額

Q 現在、介護保険基金はいくら残っているのか。

A 平成28年10月末現在で、2億488万4千円となっている。

国保会計へ法定外繰入金577万9千円増額

Q 今年度は総額いくらになるか。

A 当初予算で法定外繰入金を2億円措置した。9月補正で134万4千円の減額補正をし、今回の12月補正までをトータルすると、2億433万5千円となる。



総括質疑

発 言 者	質 疑 事 項
柿木原 榮一議員	1 議案第99号 伊佐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 2 議案第127号 伊佐市一般会計補正予算（第8号）
前田 和文議員	1 議案第111号 財産の減額貸付について
山下 和義議員	1 議案第127号 平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第8号） 2 議案第128号 平成28年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

議決結果一覧表

議案番号	件 名	議決結果
97	伊佐市報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
98	伊佐市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例及び伊佐市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
99	伊佐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
100	西太良地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について	原案可決
101	羽月地区公民館の指定管理者の指定について	原案可決
102	田中校区集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
103	湯之尾校区集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
104	本城校区集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
105	羽月西青少年センターの指定管理者の指定について	原案可決
106	牛尾青少年センターの指定管理者の指定について	原案可決
107	山野基幹集落センターの指定管理者の指定について	原案可決
108	菱刈菱泉センターの指定管理者の指定について	原案可決
109	楠本川溪流自然公園の指定管理者の指定について	原案可決
110	財産の減額譲渡について	原案可決
111	財産の減額貸付について	原案可決
112	副市長の選任について	同 意
113	教育長の任命について	同 意
114	監査委員の選任について	同 意
115	公平委員会委員の選任について	同 意

議案番号	件 名	議決結果
116	公平委員会委員の選任について	同 意
117	公平委員会委員の選任について	同 意
118	監査委員の選任について	同 意
119	伊佐市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び伊佐市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
120	伊佐市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
121	平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
122	平成28年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
123	平成28年度伊佐市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
124	平成28年度伊佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
125	平成28年度伊佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
126	平成28年度伊佐市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
127	平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
128	平成28年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
129	平成28年度伊佐市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
130	平成28年度伊佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
131	平成28年度伊佐市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決

第4回定例会（12月）の表決結果

賛否が分かれた議案のみ（○は賛成、●は反対、欠は欠席）

議案番号		議案	議員氏名																			左近充
			谷山大介	武本進一	岩元努	井上文雄	森山良和	今村謙作	山下和義	森田幸一	緒方重則	久保教仁	前田和文	畑中香子	沖田義一	鶴田公紀	柿木原榮一	福本千枝子	植松尚志郎			
111	財産の減額貸付について		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○			
113	教育長の任命について		無記名投票 反対 3 票																			議長のため表決に参加せず
119	伊佐市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び伊佐市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	●	○	○		
127	平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第8号）		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
128	平成28年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		

請願と陳情の結果

件名	提出者	紹介議員	付託先	結果
請願1 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図る為の、2017年度政府予算に係る意見書採択について	始良伊佐支部 伊佐地域協議 会議長 上淵 康	福本 千枝子	文教厚生委員会	採択

意見書の要望内容

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図る為の、2017年度政府予算に係る意見書

日本は、OECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっています。しかしながら、第7次教職員定数改善計画の完成後10年もの間、国による改善計画のない状況が続いています。自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国段階での国庫負担に裏付けされた定数改善計画の策定が必要です。一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員定数改善が不可欠です。また、新しい学習指導要領により、授業数や指導内容が増加しています。日本語指導などを必要とする子どもたちや障害のある子どもたちへの対応、いじめ・不登校などの課題もあります。離島・山間部の多い鹿児島県においては2学年の子どもが一つの教室で学ぶ複式学級が多く、単式学級で学ぶ子どもたちと比較したとき、憲法が要請する教育の機会均等が保障されているとは言えません。子どもの教育の機会均等と学びの保障の観点から、複式学級の解消は、極めて重要な課題です。

こうしたことの解決に向けて、少人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善が必要です。いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われていますが、国の施策として定数改善にむけた財源保障をすべきです。

三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられました。その結果、自治体財政が圧迫され非正規教職員も増えています。子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。

子どもの学ぶ意欲・主体的なとりくみを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠です。こうした観点から、2017年度政府予算編成において少人数学級の推進（30人以下）、義務教育費国庫負担金制度の負担割合の2分の1復元が実行されるよう、強く要請します。

以上

平成29年1月6日

鹿児島県伊佐市議会 議長 左近充 諭

(提出先)

内閣総理大臣 文部科学大臣 総務大臣 財務大臣

市民生活の 向上をめざし 一般質問 11人



新庁舎建設と 積立金額は

市長／合併協議で建設しないとなっている

鶴田 公紀 議員

問 合併推進債活用で
庁舎建設予定と積立
基金総額は。

答 合併協議事項で当
分新庁舎は建設しな
いと決定している。財政運
営上、電算統合や耐震工事
を実施した。新市まちづく
りが平成29年度で完了。建
設予定の場合、29年度まで
に計画変更し、総務省の認
可があれば35年度まで合併
推進債が活用でき計画変更
の選択肢も可能。積立金27
年度末9億8千万円。

問 庁舎建設検討委員
会の設置は考慮でき
ないか。

答 建設の可能性を残
せば市の財政状況等
を検討し、地域審議会に諮
り、計画変更に着手するの

が一番スムーズに行くと考え
える。その後議会や市民の
方々の意見を聞くことにな
る。

インフラの再構築・
空き家対策

問 インフラ整備の再
構築の検討は。

答 市道は路線数
642本延長552
kmで道路パトロールで点
検補修、橋梁は強靱化施策
で対応、公共物の維持は年
次的に予算配分し整備する
必要がある。

問 空き家1600戸
(シルバー人材セン
ター調べ)が確認されてい
るが、対応策は。

答 増加傾向を感じて
いるが個人財産で解
体等介入していない。危険
家屋が増加すると安心安全
快適な生活環境の確保やま
ちづくりの根幹に影響する。
空き家特措法の指定建物は
所有者を調査し解体や修繕
等、必要な措置を指導する。

その他の質問

○木ノ氏バイパスの開通に
伴い、里町から西本町の計
画路線の着工要請

○高齢化率39%に対する行
政サービスの向上 等

林業行政のビジョンは

市長／林業企業体の連携を図る
森田 幸一 議員



仕事をしていると思う。市長のビジョンを伺う。

答

30年から50年前は、スギとヒノキの価格差が倍以上あった。今、市場では同じ相場である。今後は財政負担が生じないように伐採の仕方を考えていく。

問

高齢化で後継者も少ない現状で、いかに森林を保全していくのか。生業とするには、どのような対策があるのか。

答

林業企業体の育成にかかっている。補助事業を使い、機械の導入に積極的に相談に乗って、今後連携していくことが一番だと思う。

問

森林は、水源涵養機能など、重要な多面的機能も持ち合わせている。木材の用途も建築材料、バイオマス燃料に使用するなど多様化している。木材は、2世代にわたって管理しなければならぬが、市の財産になることを考えて

るを、どのように把握し、対応しているのか。

答

PTA総会、学級PTA、学校評議員会等の会合で把握している。話題が出た場合は、市、教育委員会、自治会等と前向きに検討するように指導している。

問

菱刈前目中自治会からバイパス国道268号に接する間と菱刈本町集落から菱刈重留南集落へ通じる間及び菱刈麓後集落からバイパス国道268号に接する間に街路灯、防犯灯を整備できないか。

答

むらづくり委員会で対応している。むらづくり委員会が接しているところは、これから検討しなければならぬが、地域、教育委員会、警察、行政などで連携し、安全安心を確保できると考える。

問

本市における街路灯及び防犯灯の設置状況は、安全・安心の町と呼ぶにふさわしい設置状況か。防犯上問題があるところ



問

平成20年11月に伊佐市になり人口は3万1090人だった。それが平成28年12月1日には2万7133人となり、8年間で3957人減少している。年間500人弱だ。10年後は約2万2000人になると予想される。市長の答弁を求める。

答

少子化対策は安心して暮らせること、合計特殊出生率を上げる、そのためには産婦人科や小児科の病院やドクターの確保、そして連携強化、子育ての不安解消のためにトータルサポートセンター等、年齢に応じての相談窓口を充実してゆくことが子どもを産み易くする環境だと考える。企業誘致は東京や大阪に県と一緒に進んでいる。

伊佐市の人口について

市長／少子化対策は広範囲にやっている

植松 尚志郎 議員

切っているといるところにあると考える。

問

現在、伊佐市の小学生が1164人、各学年約200人くらいだ。平均寿命が85歳とした場合、伊佐市の人口は1万7000人くらいとなる。今後が心配だ。

答

子どもとしては、合計特殊出生率が1.9人で全国平均より上であるが、問題は20歳から40歳までの適齢期の女性が少ないため、出生が200人

市道・農道のインフラ整備は

市長／市道は維持管理事業、農道はむらづくりで
柿木原 榮 一 議員



問 市道高柳元町線の60年ほど経つコンクリート製の張り替え舗装、市道下元町線の国道268号からハローワーク前の約100メートルの狭い道路幅の整備はどうなるのか。

答 市道高柳元町線はコンクリート板をはぎ取らないで路盤としてク

ラック抑制シートを施工してアスファルト舗装の計画。市道下元町線は、整備が必要な区間で交通状況の調査、どのような整備が最適であるか、地権者の同意等もあるので整備を含め考える。

問 市道山之口園田線、農道鳥巢1号線の1003メートルの整備、農道市営住宅西水流団地からオテキ（兄）木工所までのむらづくりでの整備状況は。

答 市道山之口園田線は、状態の悪い所は補修を、路肩の土砂等は除去の計画、農道鳥巢1号線は平成29年度当初予算に予算要求している。農道市営住宅西水流団地からオテキ（兄）木工所までは、西水流自治会より、高齢者・子どもが安心して通れる農道、通学路の要望が10月上旬にあり、ほかの方策との兼ね合い考慮し、内示していく。

伊佐市の教育力向上・学力向上は

問 28年度全国学力・学習状況の調査「全国学力テスト」の状況と県教育委員会からの指導の有無は。

答 全国調査で出される学力は子どもたちの将来に、職業選択の幅がより広くなる重要な問題である。小学校は基礎・総合とも全国平均を下回り、中学校は、まだまだ努力を要すると思う。県の義務教育課から、地区別のこういう所が悪いと指摘され指導法の改善ポイント等の指導がある。学習向上プログラム、学習向上支援Webシステム、というのを取り入れている。

問 読解力も指摘されているが、各種新聞の活用は学校でどのような状態か。

答 子ども新聞、科学新聞等を図書室等で活用している、一般新聞は購読していない。



問 子ども医療費を中学校卒業まで無料にしてほしいという署名が3650筆届けられた。署名の数から優先順位の高い要求だ。子ども医療費を高校卒業まで無料にしないかどう。

答 署名は大きな要望だ。試算の結果6500万円位要る。恒常的に支出を続ける事業は、財政状況を踏まえ考えていない。

問 陳情の趣旨、議会の助成を中学校卒業まで拡充だった。「広報いさ」の平成27年度一般会計に実質収支は約4億円と書いてある。財源はないのか伺う。

答 単年度的にはある。恒常的に続く施策は

問 学校保健安全法のよると夏は30度以下、冬は10度以上であることとされている。伊佐市の最低気温の平均は1月からマイナス6・7度、マイナス5・2度だが1時間目の室温は何度か。

答 きちんとした数字はとってない上、明

県内19市の助成状況		平成29年1月1日現在
自治体名	対象年齢	自己負担
伊佐市	就学前まで	3000円 3歳未満なし
1市	就学前まで	なし
1市	小卒まで	なし
1市	中卒まで	2000円 3歳未満なし
1市	中卒まで	2000円 未就学なし
10市	中卒まで	なし
3市	高卒まで	なし
県の助成	就学前まで	3000円

学校の冷暖房について

問 学校保健安全法のよると夏は30度以下、冬は10度以上であることとされている。伊佐市の最低気温の平均は1月からマイナス6・7度、マイナス5・2度だが1時間目の室温は何度か。

問 学校衛生環境基準で室温が体に影響を及ぼすと書いてあり、生理的、心理的負担をかけない温度は冬で18度から20度と書かれている。伊佐市では学校衛生環境基準に従わず、しもやけ等の事例もある。体に影響を及ぼして授業を受けさせることが正しいのか。また寒さ対策をする場合、校則で禁止されている時どうしたらよいか伺う。

答 冷暖房の中で生活をするのが理想だが、私たちが暖房のない教室で勉強してきた。校則は担任へ相談し学校は個々に対応していく。

いそげ、子ども医療費拡充
市長／今の所考えていない
谷山 大介 議員

財源が補償されることが確定していない。学習環境は校長の判断だ。

問 学校衛生環境基準で室温が体に影響を及ぼすと書いてあり、生理的、心理的負担をかけない温度は冬で18度から20度と書かれている。伊佐市では学校衛生環境基準に従わず、しもやけ等の事例もある。体に影響を及ぼして授業を受けさせることが正しいのか。また寒さ対策をする場合、校則で禁止されている時どうしたらよいか伺う。

答 冷暖房の中で生活をするのが理想だが、私たちが暖房のない教室で勉強してきた。校則は担任へ相談し学校は個々に対応していく。

危機管理監の創設

市長／重要な課題と考えるが現在の導入は難しい

井上文雄 議員



問

各地で発生する豪雨災害・土砂災害・地震災害などが絶えない昨今、我が伊佐にも専門性を有する外部人材、防災監並びに危機管理監等の雇用、配置をするべきではないか。



答

伊佐市の規模、立地条件、予想される災害、あるいは関係機関との連携等を考慮して制度の導入が必要か検討をする。防災部門組織の改編等も考えられるので、全面的な組織のあり方の検討の中で考える必要もある。組織上のことと整合性をとりながら、今の時点で新たに防災監、地域防災マネージャーを導入するというのは難しいと考えている。

道の駅の創設について

問

道の駅構想、創設は第三者委員会を立ち上げ、論議を重ね立地条件等々満たしたならばコンサルタント会社等に依頼するなどが肝要ではないか。

答

平成25年に調査して頂き、今の伊佐の持っている、生産物や消費力からして、経営的に難しいとの結論が出ている。小規模ながら物産館をなさっている方々が、大同連結できたらこれは可能性はないとは言えないが、今まで調査した範囲ではかなり厳しいということだ。ビジネスに結びつくものは行政ではなく、民間が行うべきで会社を設立なさろうという方々への支援をするのが行政の役割だと思っている。



問

子育て世代が子どもを安心して預けられる育児サポート体制が必要である。検討できないか。

答

育児サポートの要望等も出ているので、アンケートを実施してその結果で今後検討する。

問

シルバー人材センターのお助け事業や介護等のサポート事業の今後の取り組みは。

答

高齢者などへのサポート事業は、シルバー人材センター等の事業等を優先して進めていく。生活介護や身体介護等についても実費ヘルパーを実施している事業所をフォローして行く。

ファミリーサポートについて

市長／今後、検討する

山下和義 議員

4年間の方向性と活性化策について

問

児童生徒が18歳まで伊佐で生活する環境が一番である。大口中央中に男子バレーボールやラグビー等の部活動ができる体制が作れないか。

答

基本的に市内の児童生徒は、市内の中学校・高校に進んでいただきたい。部活動の決定は来年度の教員の陣容で決めていくが、子どもたちの願いを十分反映できるように指導する。

問

伊佐農林高校等の生徒確保策と、特別支援学校の誘致の力を入れる時期だと思いませんか。

答

主体は伊佐農林高校にある。校長を中心に生徒確保策を提言していただきたい。また、特別支援学校の誘致はこの4年間でめどをつけたと思っている。

字「天堂ヶ尾、関白陣」の発掘を

市長／専門家の意見を参考に
沖田 義一 議員



問 現在、曾木関白陣に、新納武蔵守忠元碑が建設されている所は（三番岡）字「軍木ヶ平」である。二番岡は、字「天堂ヶ尾」である。三国名勝図会には「天堂ヶ尾、関白陣」とあり、二番岡の事を指している。秀吉が陣を敷

いて野営したのは、二番岡の可能性が非常に高い。再調査すべきではないか。

答 現在薩摩の山城や大口城跡を調査されている方等の成果をお伺いしながら対応していく。

問 前回の調査とは別な所（第二岡）の可能性が非常に高い、確認されたら「国宝」級の発見との指摘もある。調査特別委員会なるものを設置し、再調査すべきではないか。

答 確かに秀吉が全国統一した最後の地といえるその価値は非常に高いものがあると思う。この件については非常に詳しい調査、研究をされている方々の結果を待つて対応したい。

保育料の軽減について

問 いろいろなパターンがあるが、保育所認定こども園の第2子以降の保育料の軽減について伺いたい。

答 年収360万円未満及び一人親世帯については、国の助成があり、第3子に保育料がある場合は市が助成する。年収360万円以上の世帯についても、第3子について市が助成する。

問 伊佐市の負担している対象者の人数及び負担金額について伺いたい。

答 第3子以降の対象となるのが200人程度、負担金額については約3千万円程度、またその他全ての国県にかかる保育料の負担軽減を図るために約一億円程度を投じている。



問 先の6月議会で熊本地震により、災害対策本部となる庁舎が崩壊し機能できない自治体があった。本庁舎は大丈夫か。新庁舎建設の考えはないかと質し、考えていないとの答弁であった。いつ決断したのか。

答 選挙戦を通じ、市民の関心が強く、次のリーダーになく決断をした。今後、議会と相談していく。

問 合併し、3期目の首長として伊佐市の将来を託された。多くの課題をどう解決し、どんなまちづくりをめざすのか伺う。

答 ①ひとりひとりが健康で元気であるための健康づくり、生きがい

どうする新庁舎建設

市長／準備して次のリーダーに託す

福本 千枝子 議員

づくりをキーワードとする。

②コミュニティ活動による地域づくりを重要視する。

③農業では農業政策転換の一年であり、担い手対策、飼料米の飼料工場の誘致。

④観光においては曾木の滝、鶴田ダムを中心とした新規ビジネスを展開する。

⑤個々の知識や経験、子育て、ものづくり等の人材育成をする。

⑥異年齢を通じ、きちんと挨拶のできる青少年の育成等のまちづくりをめざす。

地域おこし協力隊の導入は

問 この事は3回目の質問となる。伊佐市に定住し、特産品の開発、伊佐の課題解決や魅力の発見等の情報発信をする。その事が交流人口、定住人口につながると提案してきたが、その後、検討されたのか。

答 質問を受け、総務省の会議に参加し、45人の隊員が活動している大分県の竹田市を視察した。移住、定住重視型の方向で29年度で募集し、30年度から受け入れる予定である。

市道管理は全庁的取り組みが必要

市長／連絡がとれる関係者に協力をもっている

前田 和文 議員



問 管理のおろそかになっていく市道は風水害にも弱い。住民は高齢者が大部分であり、救急車や消防車を要する事故が発生した場合に住民の安全安心な生活は守れるのか。

答

地権者を調べる事は、税務課や霧島法務局にも出向き迅速に行い、所有者の了解を得て作業にかかって行く。また市の道路パトロールで市内全域を見ることができないので、それぞれ自治会長の要請や議員の方々への相談などを、窓口が把握し、中途半端な事態で置かないようにする。

家畜、家禽類の防疫体制の再点検は

問

鳥インフルエンザに関する対策や口蹄疫の防疫体制が疎かになりがちであるが、担当課はどのように取組んでいるのか。

答

高病原性鳥インフルエンザは、県を中心に防疫体制に当たることとされている。始良家畜保健衛生所も始良・伊佐地域の関係機関を集めて緊急防疫対策会議を開催し、侵入防止対策の徹底と緊急事態発生時の関係機関の協力について相互確認をしている。牛や豚などの家畜についても、平成22年度に宮崎県



で発生した口蹄疫を教訓に、行政機関だけではなく、家畜農家自身も防疫対策の重要性を認識しており、各協議会や座談会等で防疫対策の徹底をお願いしている。公共施設においては消毒マットを設置し防疫の徹底を図っている。



問

市長選について薄氷の勝利であり、半数近くの市民から支持を得られなかった理由をどのようにとらえているか。選挙で訴えたこと、市民から訴えられたことを分析し、今後の市政運営について所信を表明すべきではないか。

答

選挙は戦術・戦略がつきもの。結果として信任された。所信表明は必要ない。議会で答弁し、公約を実現していく。

問

生活道路の改善等、市民の願いについては、むらづくり事業のみでは限界がある。ことさら自助・共助を進めてきたことが生活道路の放置など市民要求が通らない一因となっている。耳障りのいい意見、安上がりな要望だけでなく優

市民の声、真摯に受け止めよ

市長／選挙で信任いただいた

畑中 香子 議員

先すべき課題・事業を見極めるべきだ。

答

緊急性の高いところなど、関係団体と協議しながらひとつひとつ解決していく。

子ども医療費について

問

子ども医療費助成を拡大を求める声が大きい。全国の8割が中学校卒業まで、9割が小学校卒業まで拡充している施策ができない財政状況ではない。

答

絶対にやらないというわけではない。どこからお金をつくりだすかということだ。

答

これから交付税が少なくなり財政が非常に厳しくなる。しっかり

した財政で次の方に渡したい。

問

子どもの命にかかわる問題だ。異常があるときは素人判断をせず病院を受診することが重篤な病気を防ぐことにつながる。最優先の課題ではないか。

閉会中の議会活動



年末年始交通事故防止運動キャンペーン



知事と語ろう



車座対話

行政視察の紹介



佐賀県神埼市



喜界町



茨城県取手市



熊本県美里町



和泊町

伊佐の夜空

平成29年は酉年ということで、大晦日から元旦にかけて鷺星雲を撮影しました。
オリオン座の向かって左、一角獣座にあるガス星雲で、とても淡く伊佐市の澄んだ星空でなければこれほどはつきりと写せません。

寒さに震えながら望遠鏡にカメラをセットして撮影を開始したのが午後11時。機械任せにして集落の初詣に参加し、集落の皆さんと菅原神社で年を越しました。前日菅原神社はちよつとした高台にあり、周囲が見渡せます。川内川と支流の川から湧いた霧が街灯に照らされながら、伊佐盆地に広がる様子はとても神秘的でした。初詣の後片付けをして帰宅したのが午前2時。



望遠鏡とカメラはしっかりと星を追いつつ、約3時間露光して写し取ったのがこの鷺星雲です。改選された伊佐市議会が、鷺のように大きく羽ばたきますようにと願いをこめました。
写真・文 左近充 円
伊佐市菱刈前目から撮影

平成29年 第1回定例会のお知らせ

○定例会は午前10時開会です。

2月

24日(金)	本会議(招集日)
--------	----------

3月

6日(月)	本会議(2日目)一般質問
7日(火)	本会議(3日目)一般質問
8日(水)	本会議(4日目)一般質問
10日(金)	本会議(5日目)総括質疑
13日(月)	総務産業委員会
15日(水)	文教厚生委員会
16日(木)	総務産業委員会
17日(金)	文教厚生委員会
24日(金)	本会議(最終日)

議会中継を自宅等のインターネットでも視聴できます。
(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】



【伊佐市議会】



【議会インターネット映像中継】

大口庁舎・菱刈庁舎・ふれあいセンター・まごし館でも
議会ライブ中継をご覧になれます。



編集・発行責任者

議長

左近充

諭

議会広報等

特別委員会

委員長

畑中 香子

副委員長

武本 進一

委員

久保 教仁

谷山 大介

井上 文雄

植松 尚志郎

編集後記



第3期の伊佐市議会広報等特別委員会が新体制でスタートしました。新人の多い委員会構成となったこともあり、自由な発想をとり入れ、さらに進化した広報をお届けできるのではないかと考えております。ご期待ください。

ところでアメリカでは新大統領が誕生しましたが、政府の報道官が多くのマスコミから真偽を問われる広報をし、「もう一つの真実である」といはいはなったり、真実に基づかない主張を繰り返すことで人々を扇動する政治をつくりだす「ポスト真実」という言葉が目立っています。あらためて、報道の公平さ公正さが問われているのではないのでしょうか。

当委員会では編集段階で校正を重ね、文体の統一や見出しの工夫にいたるまで、活発な協議をおこない公平公正な紙面となるための努力を重ねております。

今後ともより多くの皆さんに読んでいただける広報となるため、一丸となって頑張つてまいります。

畑中 香子